

月刊

# さわやか

第42号  
平成22年10月15日

《発行》  
(社)日野市シルバー  
人材センター  
日野市日野本町2-4-7  
0421581-8171

## 第3回地域班長会議で活発な意見交換

社会奉仕活動、公益と共益、就業選考基準……

今年度第3回地域班長会議が9月14日、生活保健センターで開催されました。初めに安藤新事務局長が挨拶しました。山本総務部会長からは、7月の全地域班一斉清掃への労いとともに、「暑い時期を避けて6月頃に」との提案を受け、来年度は日程を変更したいとの発言がありました。

## 秋の地域班会議にも理事が出席してほしい

平山2班の系井新班長の紹介があり、系井氏が挨拶しました。また、他の班長からは「各部会の情報欲が強い、秋の地域班会議にも理事が出席して説明して欲しい」との要望が出されました。

質疑応答で中心テーマの一つになったのは、「社会奉仕活動」。



第2回地域班長会での新班長の紹介

これが新定款でセンター目的の1つに位置づけられていることから、ある班長は「これはボランティア(自由参加)ではない。会員である以上、当然参加すべき活動で、新公益法人に移行する今が会員の質をあげ、自覚を促すいい機会だ」と強調しました。

会員数	平成22年8月31日
1,765名	
男性 1,348名	
女性 417名	
入会者数	8月 26名
(男15名、女11名)	但し、退会者14名

と強調しました。

定款に関連して、半田事務局長代理からは、シルバー人材センターは今後「公益」と「共益」を区別する必要がある、との指摘がありました。たとえば、会員作品展を例にとると、これを会員だけの特定事業とすれば「共益」、一般市民も参加する展示会にするなら「公益」という具合です。

## 会員の自覚・活動参加も就業選考で考慮して

次いで焦点になったテーマは、就業現場ではトラブルなど問題が多く、不適切な人がなぜ就業しているのか、という質問。これに対し、会員の質、自覚なども含めた「適材適所」を就業選考の基準として検討すべきだとの意見、さらに総会や地域班会議、ボランティア活動等に参加しているか否かも配慮すべきだとの意見等さまざま意見が活発に交わされました。

## 会員を辞めたいときは まず地域班長に連絡を

最近、退会を希望する方が直接センター事務局に連絡してくる場合が多々ありますが、まず所属地域班の班長さんに連絡してください。班長さんの所に退会届の用紙があり、退会届は班長名でセンター会長宛に出します。

## 第七ブロックでパソコン研修

シルバー人材センター(S.C)第七ブロックの会員研修会が9月27日、府中市女性センターで開かれました。「エクセルで就業予定表を作ろう」という研修内容で、8市S.Cの各職場(学校管理、施設受付管理等)から16名(うち女性4名)が参加。日野市S.Cから渡辺、渋谷両理事が参加しました。

**全地域班一斉清掃**  
10月17日(日)に実施  
集合場所 時間は各班で設定

今回6ページ建て  
3面「事務局職員紹介」4面「地域班長だより」5・6面「子どもと高齢者の自転車安全運転講習会」

# 第2回 統括リーダー会議

統括リーダー制度発足して満3年(平成19年10月~)

## トラブル処理、「適材適所」問題を討議

今年度第2回の統括リーダー会議が9月7日、センター会議室で開かれました。出席者は、橋本・横関 高木各統括リーダーのほか、北村会長、安藤事務局長、有賀 事業部会副部長、田村理事(事業部会員)および生田事務局次長。会議は田村理事の司会で進められました。

当センターの統括リーダー制度は、平成19年10月に発足して満3年に、北村会長は挨拶で、「いまだに会員からは統括リーダーって何?」という質問が出る。実際の活動でこれに答えるようにとのべました。就任1カ月の安藤事務局長も挨拶しました。討議では、初めに各統括リーダーの現状報告。横関氏は、自転車関

係は屋外作業のため熱中症対策に力を入れたこと、月刊さわやか8月号で作業員を募集し、補充を図っていることを説明しました。高木氏は、職場のトラブル処理に当たりその事例をまとめ、接遇講師に送ったら「役に立つ」と喜んでくれたことを紹介。橋本氏は職場リーダーとのマンツーマンの対話でトラブルに対応していると話しました。

この後、各職場で問題を起こす人がいること、なぜこういつ人が就業選考されるのかという、いわゆる「適材適所」問題が論議的になり、出席者はそれぞれの立場から意見を表明しました。主として現場での対応に力を入れるという意見、いや就業調整が肝心という意見など、白熱した討議になりました。

### 入会案内説明会の参加状況

月	参加者数	
	平成22年 (月1回)	平成21年 (月2回)
4	32(6)	49(14)
5	39(12)	51(13)
6	61(25)	70(13)
7	41(14)	37(11)
8	28(5)	54(15)
9	41(13)	36(13)
計	242(75)	297(79)

( )内は女性



9月入会案内説明会の会場(H22.9.10)

入会案内説明会の参加者比較 7、9月は前年を上回る

昨年度まで毎月2回行われていた入会案内説明会は、今年度から月1回になりました。両年の半年間の説明会参加者数を比較したのが、左上の表です。今年の合計は、回数が半減しても昨年の8割強と大差なく、とくに7月と9月は前年を上回っています。

また、女性参加者の比率が昨年の26.6%から今年の30.9%に高まっているのも特徴。その結果、女性会員数は今年7月、史上初めて400名の大台を突破しました。

### 理事会二ニュース

第6回理事会 9月30日

審議事項 正会員の入会、新公益法人対応準備委員会の設置

報告事項 公益法人認定スケジュール、フェアエイト、8月事業実績、各専門部会等の報告

### 「センター」行事日程

10月17日(日) 全地域班一斉清掃 各地域  
10月23日(土) リサイクル・フェア リサイクル事務所  
10月28日(木) フェア・エイト 多摩市関戸公民館

### 人事往来

会員の宮下時男氏(多摩平2班)は6月27日、事務局臨時職員として採用されました。

訃報欄 該当者はありません。

### 配分金の支払日

10月20日(水)  
11月19日(金)  
12月20日(月)  
1月20日(木)  
2月18日(金)  
3月18日(金)  
4月20日(水)

# 事務局職員配置図

平成22年  
10月1日現在



**半田 隆**  
事務局長代理  
◇理事会  
◇榎木班



**生田宏造**  
事務局次長  
◇公共事業  
◇事業部会



**安藤恒美**  
事務局長  
◇事務局統括



**川澄純子**  
◇就業報告書計算  
(民間事業)  
◇文書管理



**鶴川正直**  
◇経理・補助会  
◇広報部会



**高良 学**  
就業  
コーディネーター  
◇清掃班



**岡 信行**  
◇民間事業  
◇総務部会



**徳田 功**  
就業  
コーディネーター  
◇民間事業所



**宮下時男**  
◇搬送班



**岩下美知子**  
◇就業報告書計算  
(公共事業)



**小森 敏**  
就業  
コーディネーター  
◇民間事業所

注:凡例

**名 前**  
役職名  
◇主な担当業務



**長堀 実**  
◇道路課  
◇緑と清流課



**中嶋良江**  
◇筆耕・配布  
◇教育委員会



**空 席**  
**沼田晃子**  
◇企業公社  
◇会員管理

カウンター

カウンター

入り口

**地域班長だより**

豊田班 松本 仁一

前任者から、理事の仕事が忙しくなるので班長をやってくれないかといつことで、地域班長を引き受け5年半、ブロック長3年目になり、来年4月には新班長に交代して戴くことになっています。

地域班長 会議、ブロック長が他班の会議にも参加

来るこの大切さを痛感して

ク班長連絡会議等に出席して、シルバ人材センターの運営、活動等、一会員ではわからなかったことが多少わかるようになりました。

我々の世代の人は仕事、仕事と働く事ばかりの仕事人間が多く、心にゆとりのない生活をしています。総会、地域班会議、一

斉清掃等への出席はおろか、出欠の返事も出さない人がいます。繰り返せない人生を自己中心から一歩踏み出してみませんか。

Dブロックでは、他の地域班会議によその班長がお互いに出るだけ出席して、他地域の皆様の意見等を見聞きして親睦を深め、お互いに顔を合わせ話が出来ることの大切

地域清掃活動では各班が声をかけあつて、皆笑顔で参加してくださるので、非常に感謝しています。

会員の皆様、総会、地域班会議等の出欠の返事を必ず出すようにして、班長を補佐してください。

**包丁研ぎ会員募集**

包丁研ぎといつても、昔ながらの砥石で研ぐのではありません。表面にダイヤモンドを塗布したダイヤモンド包丁研ぎ器を使用します。約1カ月の研修であなたも立派な研ぎ師です。希望者は事務局へお問合せください。男女は問いません。

「年賀状」印刷を承ります  
(兼中八ガキもあります)

サンプル掲示及び受付

センター (581-8171)

及びリサイクル事務所 (5

815960)

受付=11月10日(水)より随時

お渡し=受付から5日後

締切日=12月17日(金)

なお、ハガキはご持参願います。

**第七ブロック8市SCの催し**

**2010フェア・エイト**

10月28日(木) 午前9時半〜午後3時半

多摩市関戸公民館(ヴィータ・コミュニティー7・8階) 京王線聖蹟桜ヶ丘駅前にて開催  
プログラム=開会式、基調講演、会員発表会、茶道体験、会員作品展、会員交流会、会員作品販売、男の料理教室、閉会式

プログラムのうち、とくに会員交流会は昨年のフェア・エイト(八

**リサイクル・フェア**

10月23日(土)に開催!!

会場=リサイクル事務所  
(ふれあい橋北側)

再生家具、再生自転車(30台限定)を廉価販売。地場野菜、模擬店も取り揃えています。

日野市リサイクル事務所  
(042-581-5960)



山野草・ミニ盆栽のスタンド(H22.5.29)



昨年のフェア・エイトで挨拶する安藤副会長

王子市で11月20日開催)と同様、女性会員の意見交換会。男の料理教室は新企画で注目されます。

# 子どもと高齢者の自転車講習会

## あさひがおか児童館で、計36名が参加

### 児童班は：

さる6月7日に開催

された「高齢者の安全運転講習会」に続き、今回は高齢者と児童を対象とする講習会が、交通安全全週間中の9月25日(土)午後、あさひがおか児童館で開催されました。

主催は前回と同じく日野警察署と日野市で、高齢者は日老連とシルバ人材センターの会員計17名、児童と幼児15名と付添いの父兄4名が参加しました。当センターからは安藤事務局長、橋



子どもたちの自転車実技

本理事(安全管理委員長)、半田事務局長代理が立会いました。

初めに日野警察署交通課の加治屋純一警部が「東京都の交通事故件数では、自転車は18%を占めている。」この講習で、どこを守れば安全かを知ってほしいと講話。続いて参加団体代表の挨拶の後、高齢者班と児童班に分かれて、講習会が実施されました。

児童と幼児の班は、先にグラウンドに出て実技講習を受けました。担当の警察官が自転車に乗りながら、コースと注意点を説明した後、子どもたちは用意されたヘルメットを装着して自分の自転車に乗り、真剣な表情。

参加した、ももはさんとかりんさん(ともに六小3年生)は、「8の字が難しかった」横断歩道ではいつも乗ったままで走ってしまうので「これからは気をつけよう」と思った」と言います。

4歳児のお母さんの池田さんは、「2年前に子どもを後ろに乗せて事故にあったので、このような講習会には進んで出たいと思って

いる」と話しました。

実技後は、自転車の危険な乗り方をわかり易く説明する漫画ビデオを、児童たちは興味深く鑑賞しました。(6面につづく)

### 包丁研ぎGが出店

#### 各団地対象に月3回

当センターでは、従来の刃物研ぎGグループとは別に、ダイヤモンド包丁研ぎ器を使用する包丁研ぎGが昨年4月に発足、市内の各団地で出店を続けています。現在、グループ員は7名。

この9月は、ビバルズ多摩平の森団地、新坂下団地の3カ所が出店しました。とくに多摩平の森団地には毎月出店。1回の出店で多いときは50本の包丁を研ぎます。

9月最後の出店は、秋晴れの25日、新坂下団地。次第にお客さんも現れ、「この前やつてもらったら、良い切れ味が2カ月も続いたので…」と再び来られたご婦人も「うちのダイヤモンド包丁研ぎはテレビの通販で宣伝している包丁研ぎとは全然違います。水を使わない研ぎで、良い切れ味が長く続くのです」と宣伝していました。



新坂下団地での包丁研ぎの出店

### それってなに？ 公益と共益

用語自体は旧来のものですが、新公益法人制度への移行に伴いよく使われます。公益社団法人となるシルバ人材センターにとって、事業が公益であることが必須。公益とは一般市民、地域社会の利益に供すること。一方、共益とは会員相互の利益に供すること。たとえば、バス旅行、会員作品展、さらには刈払機講習会等への補助金は共益とされ、センターの予算に組み込むことができなくなります。

「5面のつづき」自転車講習会

### 高齢者班は… 「やってよかった」 の感想も

講話と挨拶の終了後、児童班はグラウンドに出、高齢者班は館内に残ってビデオを見ました。30分ほどの内容で、スクリーンには2人の高齢男性が映し出され、無謀な走行、酔って自転車に乗る、乱暴な運転ぶり、また、歩いてい

るときも標識を無視したり、走ってくる車の前を平然と危険を無視した歩行。それを見ている参加者から、笑い声や「ある、ある」などの声が聞こえてきました。

子ども達と入れ替えに今度は高齢者班の実技講習です。

質問が先にあり、手信号は片手運転になり、危険になるので無理はしない、通行帯には右側、左側はないが、原則は左側通行等々、熱心な質問が出ました。

実技はそれぞれが自分の自転車で、8の字走行や交差点での曲

（平成22年度安全標語佳作から）

無理するな 次の信号 待つ余裕

足立 忠弘（西平山）



高齢者の自転車実技

がり方、後方や左右の確認など、ほとんど問題なくスムーズに行われました。

大坂上班の山中康臣さんは「やって良かった。ビデオを見せてもらったが、聞くで見るとでは大分違う」と言います。

旭丘2班の藤沼晃さんは「こういう機会があれば何回でも参加する」と言い、忘れることもあるので期間をおいて再度、講習に出るといいのでは」と、他の参加者に呼びかけていました。

### 今年度事故5件に

#### 昨年度年間件数に並ぶ

9月17日の事故報告によると、さる6月28日、草刈り作業をしていた男性は、気分が悪くなり病院で点滴を受けて帰宅。翌日になつても体調がすぐれず入院しました。熱中症でした。この結果、今年度の事故件数は計5件となり、昨年度の年間件数に並びました。

### お知らせ

**刈払機研修 11月10日実施**  
平成20年秋以来、毎年実施されている刈払機研修会が、きたる11月10日、旧市立病院跡地で行われます。

### 自動車安全運転講習会

10月後半か11月に今年度2回目の自動車安全運転講習会を10月後半か11月に実施します。場所は多摩コース教習所。第1回は5月10・12両日実施、20名参加。

### 市実施の特定健診、生き生き健診は必ず受けましょう

問合せ先：市健康課、保険年金課

### お元気ですか

今年の夏は記録破りの猛暑となり、何かあると暑さのせい。失敗しても、忘れ物してもこれも暑さのせいと暢気に笑って済ましているが、人との係わりの中では、ミスやトラブルを人のせいや、物のせいにするわけにはいきません。人と人の関係は、大変デリケートで、気をつかつものでもあります。

新聞のコラムに経済評論家の勝間和代さんが、ある法則を引用して書いています。

たとえば、自分から相手のよいところを見つけて好意的に解釈し、どんどん好きになる努力こそ、私たちがコミュニケーションで生き残るためには必要。自分自身も相手から好かれる要素をふんだんにもつていたほうが生きやすい。

好意が好意を呼び、悪意が悪意を呼び。これが、この法則にあるフィードバック効果と説明されている。

この法則は社会の信用の基本をなすものですが、実際には口で言うほど簡単ではないことを念頭に生きやすくする努力をしていきたいと思っっています。

（渋谷善子）